

4 仕事と生活の調和の推進

(1) ワーク・ライフ・バランスに対する意識の醸成

長時間労働を前提とした働き方の見直しや、家事・育児・介護を男女がともに担うという意識の醸成を図る。

① 京都雇用創出活力会議ワーク・ライフ・バランス専門部会(継続)(男女共同参画課)

オール京都体制で推進する「京都 仕事と生活の調和行动計画」を策定した。

② 京都雇用創出活力会議ワーク・ライフ・バランス推進戦略本部会議(継続)(男女共同参画課)

オール京都体制の推進拠点として、京都ワーク・ライフ・バランスセンターを開設した。

③ アクションプラン「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進プラン」の策定

(新規)(男女共同参画課)

企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組や、多様な働き方・生き方の選択が可能となる社会の構築に向けた取組を一層進めるため、仕事と子育ての両立に加え、介護との両立や地域活動等も含めたワーク・ライフ・バランスの推進に係る具体的な課題に対応するプランを策定した。

※アクションプラン「子育て期の多様な働き方モデル創造プラン」の改定

④ 男性職員の育児休業取得促進等(継続)(給与厚生課、教職員課)

男女がともに子育てを担い、女性が積極的に社会に参画できる環境づくりを推進するため、男性職員(一般職員、教職員)の育児休業の取得を図る。

知事部局及び教育庁において、取得率 10%(平成 27 年度)を目標に取り組んでいる。

⑤ 各種啓発誌のホームページ掲載発行(継続)(労政課)

「仕事と子育ての両立支援ガイドブック」「どっちも大切」「パートタイム労働ハンドブック」を府ホームページに掲載し、広報・啓発した。

(2) 多様な働き方の普及

育児・介護等により時間に制約がある人でも経済的に自立が可能となる多様な働き方ができる制度やしくみの普及を図る。

① 子育て期の多様な働き方創造事業(新規)(男女共同参画課)

子育て世代の経験や視点・スキル等を活かし、子育てと両立しやすい勤務形態で働くことのできる子育て世代の雇用につながる事業を公募、実施し、多様な働き方を創造する。

平成23年度実施状況
19事業応募 5事業決定

② アクションプラン「子育て期の多様な働き方モデル創造プラン」

(継続)(男女共同参画課、こども未来課)

多様な働き方を可能とするビジネスモデルの創出など、子育て期の女性の就業支援や、仕事と育児等と両立しやすい職場環境及び保育基盤整備を図るためのプランを策定した。

(3) **保育・介護サービスの充実、情報提供**

仕事と子育て・介護等の両立のため、保育・介護サービスの充実と情報提供を図る。

① 保育ルーム設置促進事業(継続)(男女共同参画課)

女性の自立と社会参画を進める条件整備の一環として、京都府が主催する行催事、高等技術専門校における訓練等において保育ルームを設置した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
設置件数 122件、託児人数：641人	設置件数 164件 託児人数：704人 (H23.12月末実績)

② 私立幼稚園預かり保育推進特別補助の実施(継続)(文教課)

預かり保育を行う学校法人立幼稚園に対して補助を実施した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
通常分 125園ほか 220,080千円	継 続

③ 乳児保育促進事業(継続)(こども未来課)

乳児受入のための環境整備を図り、子育てと仕事の両立支援を推進した。

平成22年度実施結果
30ヶ所で実施

④ 休日保育事業(継続)(こども未来課)

日曜・祝日の保育事業に対して助成することにより、子育てと仕事の両立を支援した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
4ヶ所	継 続

⑤ 多様な保育サービス推進事業(継続)(こども未来課)

多様な保育サービスと放課後児童健全育成事業の充実を図るための施策を実施した。

平成22年度実施結果
広域入所を円滑に行うための実施要領を検討・策定し、その普及を図り、保育所入所の円滑化を促進離職した保育士等の再就職を支援するため、保育現場の体験プログラムや保育に係る最新情報を提供するセミナーを開催 参加者数 32人 保育士等の資質や困難ケースへの対応力などの向上を図るため、アドバイザーを派遣し、保護者への対応研修を実施 研修参加保育所 108保育所

⑥ **子育て支援特別対策(継続)(こども未来課)**

こども未来基金を活用して、保育所等の整備、保育の質の向上のための研修等の実施などにより、安心して子育てができる体制整備を推進した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
待機児童の解消や児童処遇の向上を図るため、保育所等の緊急整備を実施する市町村に助成 保育所 32箇所 放課後児童クラブ 5箇所 保育の質の向上のために保育士を対象とした研修を実施する市町村に助成 7市町村	待機児童の解消や児童処遇の向上を図るため、こども未来基金を活用して、保育所等の緊急整備などを一層促進

⑦ **延長保育事業(継続)(こども未来課)**

就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応し、子育てと仕事の両立支援を推進した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
保育所 82箇所を実施	継続

⑧ **保育ママ支援事業(継続)(こども未来課)**

保育所における保育を補完し、待機児童の解消等に資するため、家庭的保育（保育ママ）事業を実施する市町村へ、助成制度により、安心して子育てのできる環境を整備した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
施設整備 27箇所 運営助成 27箇所	継続

⑨ **安心保育推進事業(継続)(こども未来課)**

社会福祉施設等における事業所内保育施設の整備及び運営経費を助成することにより、福祉人材の確保・定着とワーク・ライフ・バランスの推進を支援した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
施設整備 4箇所	継続

⑩ **未入園児一時保育事業(新規)(こども未来課・文教課)**

保育園、幼稚園に在宅で育児を行う保護者を登録し、相談事業等を実施するとともに、保育園での一時保育を推進した。

平成23年度実施状況
幼稚園133園 49,568千円、府内65保育所(見込)

(4) 企業等のワーク・ライフ・バランスの取組支援

中小企業の状況に応じたワーク・ライフ・バランスの推進と、企業の取組の情報発信、地域主体のワーク・ライフ・バランス推進の支援等を実施する。

① ワーク・ライフ・バランス地域推進事業(継続)(男女共同参画課)

地域に根ざしたワーク・ライフ・バランスの実現に向け、宇治市を中心とする地域で事業を実施した。

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
地域ワーク・ライフ・バランスまつりの開催 参加者数 220名 ニーズ調査等	食育、若者のキャリアアップ、子育て支援等をテーマとした講座を開催

② 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度(継続)(男女共同参画課)

急速な少子化の進行等を踏まえ、子どもを安心して生み育てる労働環境の整備のため、中小企業の実情に合った仕事と子育て等の両立支援に係る取組の普及推進を図った。

※「京都モデル」子育て応援中小企業認証制度を改正

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
「京の子育て応援宣言企業」 宣言企業 85社 累計 394社 「京都府認証 京の子育て応援企業」の認証 認証企業 5社 累計 41社	「ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業」 宣言企業 210社 累計 604社 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業 認証企業 17社 累計 58社 (H24.1月末実績)

③ ワーク・ライフ・バランス推進企業フェア(新規)(男女共同参画課)

ワーク・ライフ・バランスに取り組む中小企業と新規学卒者等若年求職者との出会いの場として「ワーク・ライフ・バランス推進企業フェア」を開催することにより、中小企業の人材確保の支援と若年者への啓発を行った。

平成23年度実施状況
第1回 11月19日 参加企業22社 参加人数67名 第2回 2月28日 参加企業32社 参加人数393名

④ 京都府子育て支援表彰(継続)(こども未来課)

安心して子育てができる環境を整備するため、子育てしやすい職場環境づくりをはじめ、子ども連れて利用しやすい施設の整備や地域で子育て支援に積極的に取り組む企業、子育て支援団体を表彰するとともに、ホームページ等で事例等を紹介した。

(20年度から表彰対象を子育て支援団体にも拡充)

平成22年度実施結果	平成23年度実施状況
表彰企業・団体数 17企業・団体	継続